

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成29年5月18日(2017.5.18)

【公開番号】特開2015-196371(P2015-196371A)

【公開日】平成27年11月9日(2015.11.9)

【年通号数】公開・登録公報2015-069

【出願番号】特願2014-77254(P2014-77254)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/47 (2006.01)

G 0 2 B 26/10 (2006.01)

H 0 4 N 1/113 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 2/47 1 0 1 M

G 0 2 B 26/10 B

G 0 2 B 26/10 A

H 0 4 N 1/04 1 0 4 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月24日(2017.3.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項12

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項12】

前記制御手段は、前記光学センサから出力される1つの検出信号に対する、前記複数の発光素子のそれぞれの、画像データに基づく光ビームの出射タイミングの相対遅延時間を、前記平均値に応じて制御することを特徴とする請求項11に記載の画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0080

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0080】

その後、S116で、CPU401は、発光素子1及び32が射出するレーザ光の光量を、次の記録紙への画像形成に備えて、画像形成用の予め定められた光量に設定し、処理をS117に進める。S117で、CPU401は、S103と同様、CPU401は、BD間隔測定の実行結果(平均値)に基づいて、レーザ射出タイミング制御を実行し、処理をS118に進める。S118で、CPU401は、画像形成ジョブの実行を終了するか否かを判定する。CPU401は、画像形成ジョブに設定された枚数の記録紙への画像形成が終了した場合、画像形成ジョブの実行を終了すると判定し、S119で、ポリゴンミラーの回転を停止して、処理を終了する。一方、CPU401は、画像形成ジョブに設定された枚数の記録紙への画像形成が終了していない場合、画像形成ジョブの実行を終了しないと判定し、処理をS1004に戻し、次の記録紙への画像形成処理を実行する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図1】

